

# 民報 ゆうばり

# 南空・さくらまつり”血くりやま、開催!

# 「政治に春を! 元気をつけて2015一斉地方選挙で躍進を!」花の下で奮闘

## 暴走安倍政権を終わらせよう!

南空知日本共産党後援会さくらまつり開催

大門参議がお話し

「昨年の参議院選挙

5月11日、快晴の中栗山公園で南空知日本共産党後援会さくらまつりが開催されました。夕張からはマイクバスや乗用車で34名、全体では210名が参加しました。第1部は、後援会代表世話人や党南空知地区委員長などの挨拶のあと、大門参議院議員の挨拶とお話がありました。

「昨年の参議院選挙で日本共産党は現有6議席から11議席へと大躍進した。しかし、民主党政権から自民政権に替わり衆参のねじれ現象がなくなり、圧倒的な自民党、公明党の議席数を背景に、安倍政権の暴走が始まった。

わが党は参議院で議案提出権を得たので、選挙でも大きな争点であった『ブラック企業規制法案』を提出した。



国会では審議されなかつたが、この法案を提出しただけで、これまで手をつけてこなかった厚労省は重い腰をあげ、ブラック企業の実態を調査し始めた。共産党が大きくなれば、



政府を動かす国民の要求が通るようになってくる。

また秘密保護法案の

審議では共産党は衆参併せて国会内外で、本質を徹底的に明らかにし反対を貫いてきた。今ではマスメディアも含めて国民世論は反対の声が大きくなってきている。

四月に消費税が増税され、さらに10%をねらい、年金・医療・介護など社会保障の切り下げ、憲法改正などの暴走安倍政権を終わらせるため、来年の一斉地方選に向けて

「その後、大門参議を中央に岩見沢、三笠、美唄、南幌、長沼、夕張、栗山の次期予定候補の紹介と決意が披露されました。」

## ＝南空知女性キャラバン＝夕張市内で「安倍政権の横暴を許さない」と訴える!



4月30日、南空知日本共産党女性後援会の「女性キャラバン」が、夕張市内各地を巡りながら、恵・歩・光の各団地と千代田で街頭から政策を訴えました。

マイクを握ったくまがい桂子市議は、「消費税増税を強行した安倍内閣に抗議の声をあげましょう。黙っていたらさらに10%への増税です。年金は減らされ、医療、介護の負担は重くなるばかり。社会保障の財源にするという政府の説明は真っ赤なウソでした。消費税に頼らない別の道で財源をつくろう」と呼びかけました。

さらに、秘密保護法の強行、消費税増税、TPP参加推進、集団的自衛権の行使容認など、安倍政権の暴走の数々を批判。

非正規雇用がひろがり、『ブラック企業』がはびこる日本。働く人がこんなにひどい扱いを受けているのは先進国では日本だけ。

日本共産党は、厚生労働省に、企業への立ち入り調査や企業の離職率を公表させました。最低賃金を時給1000円以上に～欧米なみに、政府が中小企業への援助を行えば実現できます。日本共産党とともに、国民の力で政治を変えていきましょう!と力強く訴えました。

第85回メーデー集会

安倍「暴走」政治にストップを!



5月1日、はまなす会館で第85回夕張メーデー集会が開催され、約50名が参加しました。

主催者を代表してメーデー集会実行委員長の筒井勇治さんは「今年のメーデーは、『戦争ができる国づく』をめぐり安倍『暴走』政治にストップをかけ、憲法がいきる安け、憲法がいきる安け、安心社会の実現、労働者・国民本位の政治転換をめざすこと、さらに、景気回復にむけすべての労働者の賃上げや諸要求実現、労働法制改悪反対など要求前進にむけ職場・地域からの力を総結集する新たな出発点としよう」と訴えました。

立ち「残り一年の任期をしました。紙智子参事を力いっぱい頑張りま議院議員からもメッセーが寄せられていま最初のメーデー集会在に奮闘することを語りした。集会は「メーデーの共産党くまがい市議歴史から学ぶ」として葛岡章夕張労連執行を確認しあいました。

くずさんの夕張歴史散歩④

これまでの災害では、どんなに多くの犠牲を出しても、お恵み程度の扱いで泣き寝入りでしたが、このとき「全国坑夫組合夕張連合会」は、抗議と救援の行動に立ちあがります。初めて会社の責任を追及し、遺族のために補償の要求をたたかいます。丁末小学校で「北上坑大惨害経過報告労働者大会」を開催し、抗議の声をあげます。また、初めて犠牲者の名前が刻まれた慰霊の碑を建立させました。働く者の声が生きた最初の行動でした。

北上坑遭難之碑



末広墓地のはずれ、建交労の組合事務所の前に堂々と立つ4メートル(記録では4メートルとありますが、もつと大きいと思います。どなたか実測してみませんか)の「北上坑遭難者之碑」が、はるかブリヤマを望んで立っています。そしてこの碑の両側面には、犠牲者の名前がぎっしりと刻まれています。よく見ると、12名にも及ぶ女坑夫の名前もあり、また名字が「同」「同」とつづくのが多くみられます。家族ぐるみの犠牲と思われる。残念なことに、90年余敵しい風雪に曝され、ところどころ削り落ちたり草木が生えたりと荒廃が目につくようになりました。夕張の歴史を刻む生き証人として、坑口と共に大切に保存されねばなりません。こうして生まれて間もない「坑夫組合」のたたかいは始まりませんでした。日本共産党の創立まで、なおも2年間を待たねばなりません。(この頃おわり)



「国会かけある記」

日本共産党参議院議員

大門 実紀史

「日本近海ではなくペルシヤ湾だよ」

五月十一日は南空知のさくらまつり、札幌西区八軒地域の演説会に伺いました。その際、安倍政権が集团的自衛権の行使を具体的に狙っている場所は日本近海ではなく、ペルシヤ湾ではないかという話をしました。じつは先日、日米関係に詳しい霞ヶ関の役人が私に「米蘭戦争を想定し、日本も参戦させたいから。イランによってペルシヤ湾(ホルムズ海峡)が封鎖されれば、石油の供給が止まり日本も困るだろう。だから『軍隊』を出せという理屈らしい」と教えてくれました。私が「しかしイランは反米感情は強いが、日本には親近感を持つている。石油が心配なら独自に平和的、外交的關係を構築することは可能ではないか」というと、彼は、「それは御党の発想。自民党は米国に逆らえませぬよ」と言いました。実際に対イランかどうかは別にしても、ペルシヤ湾周辺での紛争を日米両政府が想定しているのは事実でしょう。それを言うとは日本の防衛と関係あるのかと批判される。だから北朝鮮(または中国)を敵国に想定した日本近海だと宣伝しているのです。平和的手段など最初から眼中になく、まっすぐ戦争の道を選択しようとしているのが恐ろしい。西区の演説会が終わったとき、ある男性が「ペルシヤ湾って遠いよね」と。そうなんです。地図を見て下さい。どんなに遠いところか。